No.19

令和６年９月市議会定例会

提　案　理　由　（要　旨）

９月市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員皆様には、御健勝にて御参会いただき、当面する諸案件について御審議いただけますことは、市政進展にとりまして誠に喜ばしく、感謝を申し上げます。

今年の夏は、全国で様々な自然災害が発生しました。台風の上陸などにより、各地で土砂災害や河川の氾濫などが相次ぎ、甚大な被害に見舞われたのを始め、県内においても、集中豪雨や、広範囲にわたる突風により、住宅浸水や家屋損壊などの被害が生じました。

また、先月８日には宮崎県沖の日向灘を震源とした、最大震度６弱の地震が発生し、家屋倒壊や落石などによる被害が発生しました。

被災された地域の皆様に、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

この度の日向灘を震源とする地震は、南海トラフ地震の想定震源域内におけるマグニチュード７以上の地震とされ、普段よりも数倍、地震発生の可能性が高まったことから、気象庁では初めて「南海トラフ地震臨時情報」を発表しました。

南海トラフ地震が発生した場合には、埼玉県内においても最大震度５強程度の揺れが想定されておりますことから、即日、市ホームページやメルくまを通じて、市民の皆様に地震への備えの再確認を呼び掛けたところでございます。

こうした自然災害はいつ、どこにでも起こりうるものと

改めて気を引き締め、様々な災害に迅速かつ的確に対応するため避難所機能の充実や消防力の強化を図るとともに、災害時における自助・共助の取組が何よりも重要となりますので、一層の防災意識の向上や、地域防災力の強化を進めるなど、複眼的な視点を持って、市民皆様の命と暮らしを守ってまいります。

さて、本市でも７月に４０度を記録するなど、今年の夏も記録的な猛暑となりましたが、夏の風物詩である「うちわ祭」が、「継往開来」の精神のもと熱中症対策を徹底した上で、５年ぶりにコロナ禍以前と同様の完全な形で行われました。

市内外から昨年を上回る多くの皆様にお越しいただき、祭り本来の熱気や、文化と伝統を感じていただくことができたものと考えております。

また、花火大会では、経費の高騰などを理由に中止を余儀なくされる地域がある中で、今年もたくさんの企業や個人の皆様からの広告花火や思いが込められたメッセージ花火が寄せられ、「スクマム！ワイドスターマイン」のクラウドファンディングにも、目標を大きく上回る皆様からの協賛をいただき盛大に開催することができました。

当日は天候の崩れもなく無事に開催できたことに安堵するとともに、花火大会の終わりに、会場中に大きな拍手が響きわたるのを聞き、この花火大会に対する期待度の高さを改めて感じたところでございます。

経済情勢や気候の変動などにより、こうした行事やイベントを取り巻く環境は大きく変化しておりますが、文化や伝統を大切にしながらも、その変化に的確に対応していくことで、より安全で魅力的なものへと発展させ、次の世代にしっかりとつないでいきたいと考えております。

また、先月２８日に開幕したパリ２０２４パラリンピックは、連日、熱戦が繰り広げられているところですが、７月２６日から１７日間にわたり開催されたパリオリンピックでは、海外で開催される大会では史上最多となる金メダル２０個を含む、４５個のメダルを獲得する日本人選手の目覚ましい活躍により、日本中が歓喜に沸き立ちました。

本市出身の選手として、男子７人制ラグビーに吉澤太一選手が、また、近代五種には内田美咲選手がそれぞれ出場され、惜しくもメダルには届きませんでしたが、素晴らしい活躍を見せてくれました。また、女子７人制ラグビーでは、アルカス熊谷に所属し、日本代表として活躍された桑井亜乃さんが、オリンピック出場経験のある初のレフリーとして選出され、世界のピッチで堂々たるレフリングを見せてくれました。

日本人選手の活躍はもとより、本市にゆかりのある人達の活躍は、私たち市民にとっての誇りであり、多くの勇気と希望を与えていただきました。スポーツはまさに筋書のないドラマであり、勝利を信じひたむきに挑み続ける選手の姿は、試合の結果に関わらず私たちの心を揺れ動かし、感動だけで

なく、日々の暮らしに潤いと活気を与えてくれる素晴らしい力を持っています。

本市には、県内で有数のスポーツ施設や環境が整っており、このポテンシャルとスポーツが持つ力を最大限に生かし、子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しめる機会の充実を図り、まちの活力へとつなげていきたいと考えております。

今週の７日には、５年ぶりとなりますラグビー日本代表戦が行われ、県内外から多くのお客様をお迎えすることになります。今後もこうした大会を誘致することで、交流人口や関係人口の増加につなげ、より一層のスポーツの振興と、地域の活性化を図ってまいりたいと考えておりますので、議員皆様には、引き続きの御協力をお願い申し上げます。

それでは、今定例会に提案いたします議案につきまして、御説明申し上げます。

初めに今回の補正予算案でございますが、一般会計補正予算のうち、歳出の主なものにつきまして御説明申し上げます。

民生費におきましては、保護者が安心して子どもを預けることができる環境を整えるため、民間保育施設が進める見守りカメラの設置に対する費用の一部を補助するものでございます。

農林水産業費におきましては、農業の活性化と生産力の向上を図るため、「元気な農業支援事業」として既に実施して

おります農業機械の購入に対する補助につきまして、当初の見込みを上回る申請がありましたことから、予算を追加するものでございます。

次に歳入でございますが、今回の補正の財源として、国・県支出金などの特定財源のほか、前年度繰越金を充てるものでございます。

以上が補正予算案の概要でございます。

このほか、令和５年度一般会計、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の決算の認定につきまして、議決を賜りたく決算議案を提案申し上げます。

令和５年度につきましては、おかげさまをもちまして、全ての会計において、収支の均衡を保ち、その執行を終了することができました。ここに厚く御礼を申し上げます。

なお、本決算につきましては、監査委員から貴重な御意見をいただいておりますので、これを尊重してまいりますとともに、議員皆様の一層の御指導をお願い申し上げます。

また、一般議案としましては、将来にわたり持続可能な財政運営を図るために必要な財源を確保するため、「旧市町村の合併の特例に関する法律」に基づく基金を設置するための「熊谷市地域振興基金条例」などを提案いたしております。

慎重審議の上、御可決賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。